

区立保育園の保護者の皆さまへ

文京区子ども家庭部
幼児保育課長 奥田 光広
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症の「5類」移行に伴う区立保育園の対応について

日頃より、区立保育園の運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、ご案内のとおり 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染症法上の位置づけが「5類」に変更されます。
それに伴い、5 月 8 日（月）から区立保育園での対応を下記のとおり変更いたしますので、保護者の皆様のご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

記

1 新型コロナ感染時の登園を控えていただく期間

国から示された考え方にに基づき次のとおりとします。

なお、家庭内で新型コロナに感染した方がいる場合の登園制限はありません。

発症日を 0 日目*として 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過するまで
(登園の際は、保護者の方が記入する「登園届」の提出をお願いします。)

※ 無症状の場合は検体採取日を 0 日目とします。

2 新型コロナ感染者発生時のフェアキャストによる通知の終了

園の職員又は園児に新型コロナ感染者が発生した際のフェアキャストでの通知を終了し、今後は園内の掲示等で発生状況をお知らせします。

ただし、園内での感染の流行が見られた場合などは、適宜フェアキャスト等でお知らせすることがあります。

3 健康観察表の終了

毎朝の提出をお願いしている健康観察表を終了します。

4 その他

- 休止していた保護者の方の「一日保育士体験」を再開します。
- 基本的な感染予防対策（手洗い、換気等）は引き続き実施します。
- 国から示された考え方にに基づき、登園を控えていただく症状については次のとおりです。改めてご確認をお願いします。

① 発熱（前日の降園以降に熱があった場合を含む）

- ・ 24 時間以内に 38°C以上の熱が出た場合や解熱剤を使用している場合
- ・ 朝から 37.5°Cを超え、元気がなく機嫌が悪い、食事・水分が摂れていないなど全身状態が悪い場合
- ・ 熱が高くなくても、嘔吐、下痢、その他全身症状がある場合
※ 病気でお休みされる際は、お知らせください。また、症状が治まってから登園するようにお願いします。

② 感染症

- ・ 発熱、発疹、嘔吐、下痢、目やに、目の充血、咳等の感染症の疑いがある場合はすぐに受診しましょう。感染症と診断された場合は保育園にお知らせください。
- ・ 受診の際は、保育園に通っていることを伝え、登園が可能かどうかを医師に確認してください。
- ・ 保育園では流行状況を把握し（感染症サーベイランス）、保護者の方へお知らせしています。
- ・ 新型コロナのほか、別紙に挙げた感染症と診断された場合は、登園時に登園届※が必要です。医師の登園許可を得て保護者の方が記入してください。

※ 登園届は、園にあるほか、コドモンのメニューにある「資料室」からダウンロードすることができます。

文京区子ども家庭部幼児保育課幼児保育係
電話：03-5803-1189

登園届が必要な感染症

《出典：厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」(2018年改訂版)(2022(令和4)年10月一部改訂)》

病名	症状及び注意事項	出席停止基準及び登園の目安
インフルエンザ	潜伏期間は1～4日。急激な発熱と悪寒がおこり、咳・咽頭痛・頭痛・嘔吐・下痢を伴うことがある。発症時は倦怠感が強く、鼻汁・痰などは少ない。 ●肺炎や中耳炎、急性脳症など重い合併症をおこすことがある。	発症後5日を経過し、かつ解熱後3日間を経過するまで
百日咳	潜伏期間は7～10日。風邪のような症状から咳が増加し、2週間ほどしてから、この病気特有の咳(短い咳が連続し息を吸うときに笛のようなヒューという音がする)が2～3週間続く。 ●肺炎や脳炎などをおこすことがある。	特有の咳が消える、または5日間の適正な抗菌性物質による治療終了まで
麻疹(はしか)	潜伏期間は8～12日。始めは風邪の症状と区別がつきにくい、高熱と同時に鼻水・咳・結膜の充血、目やにが出るが多い。2～3日後に口の中に白い斑点ができ、一時的に熱は下がり気味になる。その後再び熱が上がり発疹が顔から全身に広がる。 ●肺炎・脳炎・中耳炎などを続けておこしやすい。	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	潜伏期間は16～18日。頭痛や発熱などがあり、片側あるいは両方の耳の下が腫れる。顎の下が腫れることもある。食物をかむ時や飲み込むときに痛みがある。 ●無菌性髄膜炎や脳炎をおこすことがある。 ●難聴(1,000人に1人の割合で合併する) ●思春期以降の感染で精巣炎・卵巣炎をおこすことがある。	腫れが発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
風しん(三日はしか)	潜伏期間は16～18日。紅く小さい発疹が顔から全身に広がり、発熱や首の後ろのリンパ節が腫れることもある。 ●妊娠初期の妊婦が感染すると、胎児に影響する可能性がある。(先天性風しん症候群)	発疹が消失するまで
水痘(みずぼうそう) 帯状疱疹	水痘の潜伏期間は14～16日、帯状疱疹は不定。赤い発疹が頭・胸・腹部・手足などに次々とでき、水疱となり、やがて黒いかさぶたになる。発熱を伴うことが多い。 ●水痘と帯状疱疹は同じウイルスが原因となっているので、水痘にかかったことがない人が帯状疱疹を発症している人と接触すると、水痘を発症することがある。 ●妊婦が感染すると、胎児に影響を及ぼすことがある。	すべての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱(プール熱)	潜伏期間は2～14日。感染力が非常に強い。高熱とどの痛みがあり、結膜炎の症状が強くなる。目やにが多くなる。	症状がなくなった後2日を経過するまで
流行性角結膜炎(はやり目)	潜伏期間は2～14日。感染力が非常に強い。白目の充血がひどく、目やにが多くなる。 ●重症になると視力障害をおこすことがある。	結膜炎の症状が消失するまで
溶連菌感染症	潜伏期間は2～5日。高熱とどの痛みがあり、口の中は真っ赤で舌が莓のようにポツポツと赤くなる。首のリンパ節が腫れて全身に赤い発疹ができる。また、回復期に手足の皮膚がむけることがある。 ●リウマチ熱、急性糸球体腎炎などをおこすことがある。	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
手足口病	潜伏期間は3～6日。手のひら・足の裏・口の中・お尻に水疱ができる。口の中の発疹は痛みがあり、水分や食事がとりにくくなる。 ●無菌性髄膜炎をおこすことがあるので、頭痛・嘔吐や発熱が続く場合は特に注意が必要。	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(りんご(ほっぺ)病)	潜伏期間は4～14日。顔両頬に左右対称の紅い発疹がみられる。手足にも網目状の発疹がみられる。頬に発疹が出る7～10日前くらいに微熱や風邪に似た症状がみられることがある。 ●妊娠中に感染すると、胎児に影響を及ぼすことがある。	全身状態が良いこと
ヘルパンギーナ	潜伏期間は3～6日。夏に流行しやすい。発熱とどの痛みがおこり、口の中に水疱、潰瘍ができる。どの痛みから水分をとりにくく、脱水をおこしやすい。	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
マイコプラズマ肺炎	潜伏期間は2～3週間。発熱・体のだるさ・頭痛などから始まり、3～5日してから乾いた咳がおこる。咳は徐々に強くなり、3～4週間ほど続く。	発熱や激しい咳が治まっていること
感染性胃腸炎	代表的な病原体として、ノロウイルスやロタウイルスがある。潜伏期間はロタウイルスが1～3日、ノロウイルスは12～48時間。経口感染が主だが空気感染の場合もある。突然の下痢や嘔吐、軽い風邪症状から始まる。時に発熱を伴うこともある。合併症として脱水、けいれんがある。	嘔吐・下痢の症状が治まり、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	潜伏期間は4～6日。発熱・鼻汁・咳など風邪症状が数日続き、気管支炎や肺炎に移行すると、喘鳴や呼吸困難など、乳児がかかると重症化しやすく、入院治療が必要な場合もある。	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
突発性発疹	潜伏期間は9～10日。生後6か月～2歳によくみられる。3日間程度の高熱の後、解熱するとともに紅斑が出現し、数日で消えてなくなる。	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

程度により登園届が必要な感染症

伝染性膿痂疹(とびひ)	虫刺され・擦り傷・鼻の周りの傷から細菌感染をおこし、水疱や厚い黄色のかさぶたをつくり次々に広がる。手当てが不十分だと治るのに時間がかかる。	皮しんが乾燥しているか、湿潤部位が覆っていること
-------------	---	--------------------------

★ウイルス性肝炎、結核、腸管出血性大腸菌感染症、髄膜炎菌性髄膜炎と診断された場合は、園に連絡してください。

★その他の病気にかかった場合も、連絡してください。

★感染力がなくなっても、体力が回復しないうちに登園すると、病気がぶり返したり別の感染症にかかったりすることが考えられます。十分に休養してから登園しましょう。

★登園届は医師に登園できることを確認し、保護者の方が記入して提出してください。登園届は園にあります。